

# News Release



## BASF の塩化ビニル用スペシャリティ可塑剤、全食品用途に使用可能に

2007 年 10 月 29 日

- 塩ビ食品衛生協議会 (JHPA)、食品全般との接触に問題ないと判断
- Hexamoll® DINCH (ヘキサモールディンチ) の普及をさらに後押し

お問い合わせ先:  
BASF ジャパン株式会社  
コーポレート・コミュニケーションズ  
広報担当: 山田  
TEL: 03-3238-2341  
FAX: 03-3238-2514  
maki.yamada@basf.com

BASF (本社:ドイツ ルートヴィヒスハーフェン) の塩化ビニル用スペシャリティ可塑剤「Hexamoll DINCH (ヘキサモールディンチ)」はこのほど、「塩ビ食品衛生協議会 (JHPA)」から、全ての食品と接触するポリ塩化ビニル (PVC) 製品に制限なしで使用可能との承認を受けました。ヘキサモールディンチは、特に食品包装材、玩具、医療機器など、デリケートな用途向けとして開発された非フタル酸系の画期的な可塑剤です。

ヘキサモールディンチは、昨年すでに、欧州食品安全機関 (EFSA) から使用制限は必要がないと肯定的に評価されており、それ以前にも、ドイツ連邦リスク評価研究所 (BfR) より推奨を受けています。

今回の承認をきっかけに、製品の安全性が重視される日本でも、ラップやチューブ、シーラーなど、食品と接触するさまざまな製品分野のメーカーにヘキサモールディンチをご紹介できるようになりました。

ポリ塩化ビニル (PVC) 用可塑剤はこれまで、一部用途において健康被害を発生するおそれがあると批判されてきました。そのため BASF では、「持続可能な可塑剤」というプロジェクトを 1997 年に開始し、玩具や医療機器、食品包装材などの用途に適した代替製品の開発を進めてきました。こうして開発された製品がヘキサモールディンチです。

アジア太平洋地域におけるペトロケミカル担当グループ・バイスプレジデントのデトレフ・クラッツ博士は、次のように述べています。

「ヘキサモールディンチの登場により、軟質塩ビ製品を製造するお客様は、徹底的にテストが行われ、メーカーや消費者に高い安全性を保証できる可塑剤を選択できるようになりました。日本やアジア太平洋地域においては、お客様の要求を満たすことのできる高品質な製品を作れるかどうか重要です」。

ヘキサモールディンチの需要は、2002 年の発売以来、上昇の一途をたどっています。そのため、BASF では、2007 年第 2 四半期、本社ルートヴィヒスハーフェン (ドイツ) に持つ製造プラントの能力を年産 2 万 5000 トンから年産 10 万トンまで引き上げました。

BASF ジャパン株式会社  
住所: 〒102-8570  
東京都千代田区紀尾井町 3-3  
TEL: 03-3238-2341  
FAX: 03-3238-2514  
URL: <http://www.japan.basf.com>

## 生産設備の切り替えについて

ヘキサモールディンチはお客様にとって、2つのメリットがあります。毒性特性と技術的性能に優れているという点です。ヘキサモールディンチは、既存の生産設備で問題なく処理することができます。アジア太平洋地域でヘキサモールディンチのマーケティングを担当するカーステン・グーベルは、次のように述べています。

「ヘキサモールディンチへの切替はとても簡単で、従来の混合比率やプロセスパラメーターをほんの少し、調節するだけで済みます。また、切替を行う際には、BASFのグローバルな技術チームがサポートします」。

### ■ 可塑剤とは

可塑剤は、そのままでは硬くてもろいポリ塩化ビニルに柔軟性を与え、さまざまな商品に応用できるようにする化学品です。フローリングやケーブル被覆、血液バッグ、ラップなど毎日使われるさまざまな製品の製造に不可欠です。BASFは年産60万トン以上の製造能力を持ち、可塑剤の世界的トップメーカーの1社として、標準製品からスペシャリティ製品にいたるまで、顧客各社のニーズに合わせた豊富な製品を提供しています。

### ■ BASFについて

BASF(ビーエーエスエフ)は「ザ・ケミカル・カンパニー(The Chemical Company)」を標語に掲げる世界の化学業界のリーディングカンパニーです。BASFの製品群は、化学品、プラスチック、高機能製品、農業・ファインケミカルから、原油や天然ガスに至るまで多岐にわたります。あらゆる業界のパートナーとして信頼されているBASFは、高度なソリューションと高品質な製品によって、顧客のさらなる成功をサポートしています。BASFは、新技術の開発を通して未来の課題に取り組むとともに、新たな市場を切り開いています。また、経済的な成功、環境保護、および社会的責任を果たすことで、より良い未来に貢献しています。従業員数は約9万5,000人、2006年度には526億ユーロ(約661億ドル)の売上高を計上致しました。BASFの株式はフランクフルト(BAS)、ロンドン(BFA)、ニューヨーク(BF)、チューリッヒ(AN)の各株式市場において取引されています。BASFのインターネットホームページアドレスは [www.basf.com](http://www.basf.com) です。BASF ジャパン(株)のホームページのアドレスは、[www.japan.basf.com](http://www.japan.basf.com) です。

### ■ この件に関するお問い合わせ先

BASF ジャパン株式会社  
コーポレート・コミュニケーションズ、広報担当: 山田  
TEL: 03-3238-2341、FAX: 03-3238-2514  
[maki.yamada@basf.com](mailto:maki.yamada@basf.com)